

## 目標達成計画

事業所名 グループホームあおぞら

作成日 : 平成24年11月30日

評価結果

市町提出日 : 平成 年 月 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束をしないケアの実施:管理者、職員共に身体拘束の知識は良く認識し、直接の身体拘束はしていないが、玄関については建物の構造上死角になることから、施錠の状態にある。	事故防止の為に施錠ありきではなしに、見守り等で施錠せずに、安全委過ごせる時間が生み出せないか、職員で話し合い・工夫していく。	玄関のドアを開ける事が、日々の生活で多数ある。確実に長い時間ドアを開けているのが、庭に洗濯物を干したり、洗濯物を取り込む時である。利用者も一緒の時が多々あるので、今後は出来る事から、実施していきたい。	1 か月
2	35	災害対策:大地震等の自然災害を想定し、利用者・職員が昼夜を問わず安全に避難できるように、災害時における出勤職員個々の役割を明確にし、初期動作が出来るようになっていない現状である。	火災・地震・水害・竜巻などの災害時に、出勤した職員個々が、利用者・章句インが昼夜を問わず安全に避難できるように、役割を明確にしていく。	外部評価の訪問調査日9月28日の翌日から、朝礼時に災害対策の目標に向け情報伝達している現状だが、職員個々が初期動作が出来る意識と役割を、認識・実施していきたい。	1 か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。